

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立福泉高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	・進級卒業率の向上 ・理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数の向上 ・学校教育自己診断「学校が楽しい」/「進路・生き方を学ぶ」項目の生徒肯定回答率の向上
計画名	農業体験学習「ふくいずみアグリまるしえ」

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標		3「他者と協働できる力」の育成 (2)家庭・地域等と連携して安全で安心な学校づくりを進め、生徒の自己理解を深め、自尊感情・自己有用感の向上を図る。 ・PTAや地域との交流活動(防災教育・ホテル鑑賞会・農業体験等)やきめ細かな情報提供を通じて、開かれた学校づくりを進める。
事業目標		「ふくいずみアグリまるしえ」とは「ふくいずみ:福泉高校」「アグリ:agriculture(農業)」「まるしえ:marchè(市場)」の略称であり、農業体験学習を通じて福泉高校を地域の人が集う街の拠点とする事業の総称である。 具体的には、校内菜園「ふくまるファーム」と隣接する特別養護老人ホーム「なかよしファーム」および就労支援B型施設「実里」で生徒が大豆・野菜・果物を栽培して収穫する。地域の高齢者・障がい者・幼児・児童と協働する中で、生徒の主体性や協調性を育み自己肯定感を高める。またより多様な交流の中で企業とコラボしながら商品を開発し、福泉高校の魅力を外部に発信する。このことにより、生徒の成長と事業の成果を進級卒業率・進学者数の向上につなげる。
取組 の 概 要	整備する 設備・物品 (概要)	<菜園用具一式> 苗・種・培養土・肥料・苦土石灰・堆肥・寒冷紗・園芸ネット・園芸支柱・プランター、等 <生徒用農具一式> 農作業着・長靴・軍手・レインコート・スコップ・鎌・鍬・レーキ・輪車、等 <菜園整備一式> 菜園看板・コンポスト・耕運機・軽トラック・シャッター倉庫、等 <農機一式> シャーレ(培養皿)・電子天秤・インキュベーター・発芽育苗器、等 <調理器具一式> 電子レンジ・たわし・アルミホイル、等 <商品開発一式> 梱包資材・包装資材・ジップロック・ポスター、等
	前年度	・環境科学コース3年次学校設定科目「生命科学」での稲作体験(田植え・稲刈り)・畑作体験(種まき・収穫) ・農業体験同好会の設立及び活動 ・校内菜園での畑作(だいこん・じゃがいも・スイカ・みかん・レモン) ・部活動顧問有志ふくまる実行委員会(生徒による地域活性化・地域貢献を企画・実施するための組織)の立ちあげ ・特別養護老人ホームでのインターンシップの実施
	初年度	<4月>ふくまる企画部活動体験会の実施・農業体験同好会の生徒募集・校内菜園の名称「ふくまるファーム」に決定・有志生徒(農業体験同好会・各部活動)による「ふくまるファーム」での野菜栽培(トマト・にんじん・ほうれんそう・たまねぎ・きゅうり・さつまいも) <5月>「ふくまるファーム」「なかよしファーム」での大豆栽培 <7月>地域の幼小中を招いた収穫体験会(きゅうり・じゃがいも) <8月>農業マネジメント講演会・生活指導部、教育相談委員会による菜園セラピー <9月>有志生徒による「実里」での菜園実習 <10月>先進的な取組の実践校を複数視察・有志生徒による「ふりかけレシピコンテスト」実施 <12月>有志生徒による実習レポート作成 <2月>有志生徒による生徒に向けた校内プレゼン
	2年め	初年度の内容継続・事業を有志から授業に拡充 <4月>生命科学での「ふくまるファーム」実習・「なかよしファーム」実習 <5月>「ふりかけ」製造販売企業による研修会 <6月>生命科学・家庭科コラボ授業での「野菜ふりかけ」開発実習・芸術科での「野菜ふりかけ」パッケージ制作 <7月>「塚の実里・ふくまる野菜ふりかけ」完成・産業フェア出品・コラボ企業の選定 <10月>文化祭で「ふりかけ」販売・生命科学での大豆研究 <12月>家庭科調理実習にて「ふくまるバーガー」試作 <2月>生命科学で府立学校対象の公開授業・大豆研究報告会を実施
	3年め	初年度/2年めの内容継続・事業を授業から学校全体に拡充 <4月>「野菜ふりかけ」を物産展に出品・「ハンバーガー」製造販売企業による研修会 <6月>企業とコラボして「塚の実里・ふくまるバーガー」完成 <7月>「ふくまるバーガー」を産業フェアに出品 <9月>企業・自治体・大学の催しに「ふりかけ」「バーガー」出品 <10月>文化祭で「ふりかけ」「バーガー」販売・販売収益を高齢者・児童・障がい者福祉施設に寄付 <2月>府立学校及び関係機関対象の事業報告会を実施
取組の 主担・実施者		主担:ふくまる実行委員会(有志15名) 実施者:1年め ふくまる実行委員会・生活指導部・教育相談委員会 2年め 1年め+授業担当者 3年め 1・2年め+全教職員
成 果 と 評 価 指 標 方 法	初年度	・進級率平成30年度比5%増(平成30年度1年86%/2年88%) ・卒業率平成30年度比5%増(平成30年度72%) ・理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数20名(平成30年度16名) ・学校教育自己診断「学校が楽しい」/「進路・生き方を学ぶ」生徒肯定回答率平成30年度比5%増(平成30年度72%/77%)
	2年め	・進級率平成30年度比7%増(1年93%/2年95%達成) ・卒業率平成30年度比7%増(79%達成) ・理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数25名 ・学校教育自己診断「学校が楽しい」/「進路・生き方を学ぶ」生徒肯定回答率平成30年度比7%増(79%/84%達成)
	3年め	・進級率前年度比10%増(1年96%/2年98%達成) ・卒業率前年度比10%増(82%達成) ・理系/医療系/衛生系/保育系/福祉系大学専門学校進学者数30名 ・学校教育自己診断「学校が楽しい」/「進路・生き方を学ぶ」生徒肯定回答率前年度比10%増(82%/87%達成)

3. 事業費

事業費総額	2,416,955	円
-------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。			見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算		
科目（節）	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	校内農業マネジメント講演会講師	○			¥8,000	2	¥16,000
	2	校内コラボ企業研修会講師		○		¥10,000	4	¥40,000
	3	校内コラボ企業研修会講師			○	¥10,000	4	¥40,000
							小計	¥96,000
2 旅費	1	先進校視察		○		¥10,780	1	¥10,780
	2	コラボ企業視察			○	¥10,780	1	¥10,780
							小計	¥21,560
3 消耗需用費	1	<菜園用具一式>	○			¥69,784	1	¥69,784
		苗・種・培養土・肥料・苦土石灰・堆肥・寒冷紗		○		¥78,588	1	¥78,588
		園芸ネット・園芸支柱・プランター、等			○	¥78,588	1	¥78,588
	2	<生徒用農具一式>	○			¥167,100	1	¥167,100
		農作業着・長靴・軍手・レインコート（つなぎタイプ）						
		スコップ・鎌・鍬・レーキ・一輪車、等						
	3	<菜園整備品一式>	○			¥328,763	1	¥328,763
		ファーム看板、コンポスト、等						
	4	<消耗需要農機一式>	○			¥78,900	1	¥78,900
		シャーレ（培養皿）・電子天秤・洗濯機						
		インキュベーター・発芽育苗器、等						
	5	<調理器具一式>	○			¥96,800	1	¥96,800
		電子レンジ、タワシ、アルミホイル、等						
	6	<商品開発一式>	○			¥107,001	1	¥107,001
	包装資材、ジップロック、ポスター（お品書き）、等							
7	商品制作費（ステッカー・ラベル・印字、等）	○			¥194,512	1	¥194,512	
8	試作食料費	○			¥19,210	1	¥19,210	
9	燃料費		○		¥20,000	1	¥20,000	
				○	¥20,000	1	¥20,000	
							小計	¥1,259,246
4 維持需用費	1	校内菜園ファーム水道料金	○			¥39,885	1	¥39,885
	2	校内菜園ファーム水道料金		○		¥30,632	1	¥30,632
	3	校内菜園ファーム水道料金			○	¥30,632	1	¥30,632
							小計	¥101,149
5 役務費	1						小計	
6 委託料	1						小計	
7 使用料 及び賃借料	1						小計	
8 備品購入費	1	耕運機				¥241,600	1	¥241,600
	2	軽トラック(中古・校内限定・公道不可)				¥260,000	1	¥260,000
	3	シャッター倉庫				¥297,000	1	¥297,000
							小計	¥798,600
9 工事請負費	1	校内菜園整備費				¥140,400	1	¥140,400
							小計	¥140,400
10 負担金・補助 及び交付金	1						小計	
							合計	¥2,416,955

積算内訳